

発行：安全な生活を願う市民の集い (Tel・Fax：042-725-2545)

隠された情報は何か？

「原発事故を考える町田市民の会」主催のシンポジウム・『福島原発事故から何が見える？』が、八月一四日(日)、町田市民フォーラムで開催されました。

講師は、放射線計測学者の小泉好延さんとフリージャーナリストの綿井健陽さん。それぞれ震災直後から福島に通って集めた多くの資料を基に、原発の現状を詳細に報告されました。

生々しい現地の映像の中から、線量計のけたたましい警告音。次々に映し出される線量表示版の恐るべき高数値。これが現実だったのか！

こんな現実とは、どこにも全く報道されていないじゃないか！ 猛暑の中を集った約百五十名の聴衆の間に、驚きと怒りと戦慄が走りまわりました。

「政府も東電もマスコミも、事実を隠し、安全性を強調して国民を偽り、当面のパンニックを抑え込むのに必死だ」「発表される情報はどれも100分の1程に薄められている。市民は無防備だ」「現地では、作業員が特攻隊のようになっているが、限界状況での作業も報道されていない」「権力者達は何もしない」「福島事故はチェルノブイリより酷いが、そのチェルノブイリは二五年経つても未だに収束を見ない。この現実を受け入れ、ダメなものダメと言うべきだ」「事実が見えなければ先へ進めない。復興の未来図が描けない」等々の指摘。真実の

情報開示こそが復興への鍵だと痛感しました。

お誘い合わせてご参加ください！



★原発にさようなら集会★

5万人集会 (1000万署名&集会後パレードあり)

日時：2011年9月19日(月) 13:30～

場所：東京・明治公園(JR千駄ヶ谷駅より5分)

全国 1000万人
アクション
です！

呼び掛け人：内橋克人・大江健三郎・落合恵子・鎌田慧・坂本龍一
澤地久枝・瀬戸内寂聴・辻井喬・鶴見俊輔

お問い合わせ：
Tel・03-5289-8224

(原発とエネルギーを学ぶ朝の教室)『福島の子どもたちを診察して』

講師：山田 真さん(小児科医) / 日時：2011年9月19日(月) 9:00～10:30

場所：クレヨンハウス・東京店(有料) / お問い合わせ：Tel・03-3406-6465

甲状腺被曝 子どもの45%
福島県の1150人 3月下旬調査
政府担当者「問題ないレベル」

右は、八月一八日(木)、朝日新聞・朝刊第一面の大見出しです。これを見てギョツとした人は多かつたと思います。こんな重大な事を、政府はなぜ八月一七日まで伏せていたのでしょうか？

児童の被曝最高値は、0・1マイクロシベルトだった由。保護者には三月の検査時にその場で「健康に影響はない」と伝えたとのこと。一体、誰がその児童の五年後・十年後の健康を保証できるでしょうか？ 当事者は納得したのでしょうか？ 被検者数から見ても、この検査が秘密に行われたはずはありません。マスコミは、なぜ今まで沈黙していたのでしょうか？ 市民の知り得ない情報を嗅覚鋭く嗅ぎ付けていち早く伝えるというマスコミの使命は、今や完全に封印されています。当局に抱き込まれて機能喪失状態に陥っています。私達は新聞代や受信料をダテに払っているのではありません。私達の生命の安全はどうなるのか、正確な情報が欲しいのです。「放射能に安全はない」という基本認識の上に立って迅速に報道して欲しいと切に望みます。

【後記】私達は、放射能の心配がない安全な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。毎月1・11・21日にこのニュースをお届けします。Faxにて集会情報のご投稿をお願いします。